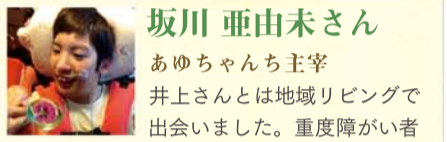
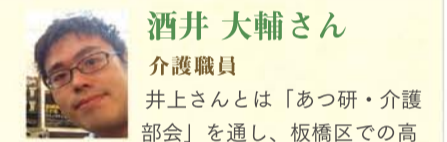


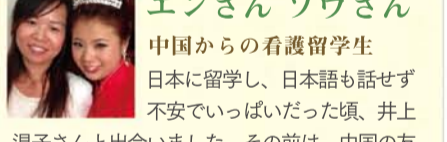
**増田 秀暁さん**  
内閣府構造改革特別区域推進本部「医療・福祉・労働」専門委員  
井上温子さんとはNPO業界の集いでお会いし、障がい者施設と一緒に訪問した事もあります。井上温子さんは社会的包摂を追求する、若きリーダーだと思います。井上温子さんが開設した地域リビングは、地域での自発的な助け合いを促す、現代風の仕組みであり、日本各地に広がって行くと思います。全国的にも高く評価されている井上温子さんが、ぜひ今後も活躍されますよう、応援しています。



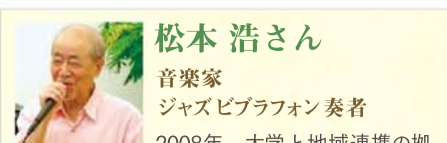
**坂川 亜由未さん**  
あゆちゃんち主宰  
井上さんとは地域リビングで出会いました。重度障がい者の娘の居場所にさせてください、とお願いに行ったのです。その後「あゆちゃんち」というコミュニティスペースを徳丸で始めるにあたり、井上さんは共に考え、動いてくれました。これから重度障がい者の地域での自立という目標に向かって共に進んでくれると期待しています。



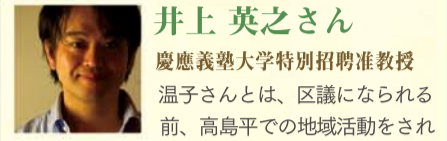
**酒井 大輔さん**  
介護職員  
井上さんとは「あつ研・介護部会」を通じ、板橋区での高齢者支援の取り組みについて勉強させて頂きました。熱心な姿勢で板橋区を良くしていくという気持ちで溢れた方です。介護だけでなく子育てや地域連携、いろんな人が住みやすい街づくりに積極的に取り組む方ですので、応援しています。



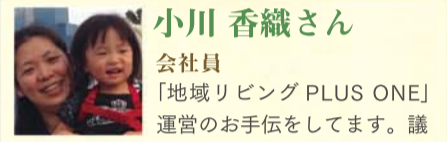
**エンさん ソウさん**  
中国からの看護留学生  
日本に留学し、日本語も話せず不安でいっぱいだった頃、井上温子さんと出会いました。その前は、中国の友達とばかり接し、日本人との付き合い方が分からなかったのですが、色んな事を教えてもらいました。また、井上温子さんを通して、日本人の友達がいっぱい出来て、家族と一緒に暮らしている感じで、高島平が私の2番目の故郷になりました。本当にありがとうございます。



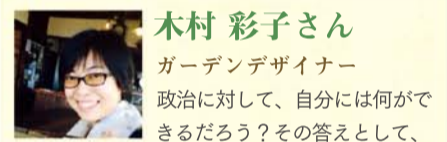
**松本 浩さん**  
音楽家  
ジャズビブラフォン奏者  
2008年、大学と地域連携の拠点、コミュニティカフェ・グリーンで知り合いました。若いけれど、識見と実行力をもっているあつちゃん。ずっと無所属で活動してきていることに共鳴しています。4年間の活動を見て来て、いろんな人に寄り添うことが出来るあつちゃんは「本当の政治家」だと思います。



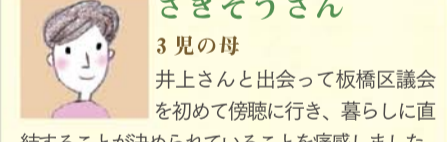
**井上 英之さん**  
慶應義塾大学特別招聘准教授  
温子さんとは、区議になられる前、高島平での地域活動をされていた時に知り合いました。議員になっても、地域の現場で変化をプロデュースしながら、その知見にもとづいて、政策を提案する。あたまだけでなく、血の通った声やアイデアを、いつもまっすぐな目線で、地域の人とともに、学びながら実現していく。これが、民主主義なんだなあ、って思います。二期目の温子さんが、板橋区のみなさんと、ともに生み出す未来が、とても楽しみです！



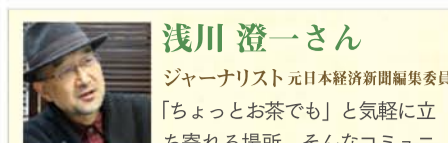
**小川 香織さん**  
会社員  
「地域リビング PLUS ONE」運営のお手伝いをしています。議員とと言うと街頭演説や視察等の印象が強いですが、井上さんは地域社会の理想とにかく具体的に行動し、少しずつですが理想に近づけていく所共感しています。地域リビングの活動を通じ、地域を良くしたいと考えている人達が沢山居ることが分り、未来は明るいと感じています。



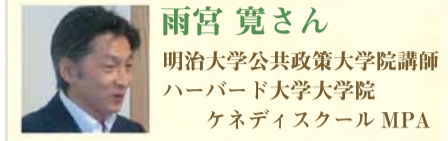
**木村 彩子さん**  
ガーデナー  
政治に対して、自分には何が出来るだろう？その答えとして、わたしは地元の議員を応援するところから始めようと思えました。そんな時井上さんと知り合い、彼女の考え方や活動に共感しました。井上さんほど板橋に愛着をもって全力で区政に取り組む人はいないと思います！彼女によって変わっていく板橋がたのしみです！



**さきぞうさん**  
3児の母  
井上さんと出会って板橋区議会を初めて傍聴に行き、暮らしに直結することが決められていることを痛感しました。彼女の主張は、一貫して子どもや高齢者、障がい者、区民の立場に立ったもの。唯一の無所属議員としてますます挑んで行く姿は、まさに地域住民の代弁者であり、政治家本来のあるべき姿だと思います。



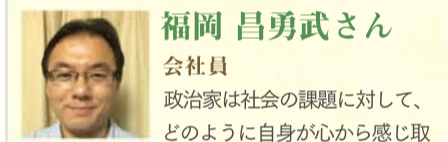
**浅川 澄一さん**  
ジャーナリスト 元日本経済新聞編集委員  
「ちょっとお茶でも」と気軽に立ち寄れる場所。そんなコミュニティ・スペースを街中に沢山作っていく運動が始まった。主役のひとりが井上温子さん。私も少々お手伝いしている。共鳴者に呼び掛け、昨年9月と今年の2月に高島平で盛大にフォーラムを開催。企画を練り上げながら、井上さん自身も「皆で作り味わう」食事処を運営。そのバイタリティーは人一倍。地域社会に「賑わい」や「助け合い」の場を広げようという心意気に拍手、拍手だ。



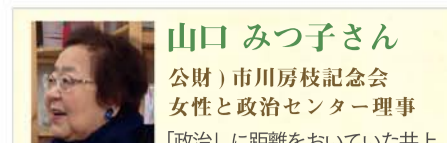
**雨宮 寛さん**  
明治大学公共政策大学院講師  
ハーバード大学大学院  
ケネディスクール MPA  
4年前に井上議員を応援して心から良かったと思っています。地元高島平で深刻化する高齢問題、子育て問題に地域リビングという地元の人々の応援を運営の力にする拠点を設立し活動しています。4年前は井上さんの若さに惹かれて応援しましたが、今回は、井上さんの有言実行の行動力・発言力に惹かれて応援させて頂くことにしました。



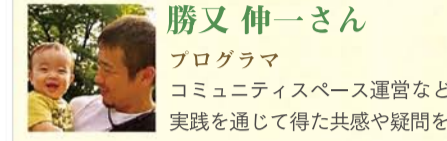
**加藤 丈太郎さん**  
NPO法人 ASIAN PEOPLE'S FRIENDSHIP SOCIETY 代表理事  
井上温子さんは、区内の外国人とも交流し、その声に耳を傾けてくださいます。当団体から区に出した陳情についても、自ら質問をしにわざわざ事務所までいらしてくださりました。アクティブな井上さんの二期目に期待しています。



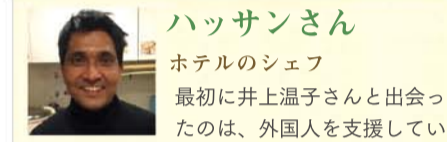
**福岡 昌勇さん**  
会社員  
政治家は社会の課題に対して、どのように自身が心から感じ取り行動していくべきであると考えています。誰かに云われる事もなく、自身で決めた事を理屈抜きでやり続ける。そして、彼女はいつも地域にいます。人と人が繋がる輪を大切にします。井上温子さんはそのような計り知れない熱い心と行動力がありブレません。彼女を心から応援しています！



**山口 みつ子さん**  
公財)市川房枝記念会  
女性と政治センター理事  
「政治」に距離をおいていた井上さんが4年前に議員になり「住みやすい町」を友人たちと話し合い議会活動と共に寄り合う場所をつくりました。この政策新聞は4年間の議会活動がわかりやすく書かれています。「願くまち」「これからの板橋」の頁は老若男女のイラストには必ずあなたが描かれていたのを発見します。幼稚園の子どもにも見せたいです。井上さんは、無所属ではつつと活動しており、若い世代のホープです。わが板橋にこういう女性議員が育っているのは喜ばしい事です。



**勝又 伸一さん**  
プログラマー  
コミュニティスペース運営など実践を通じて得た共感や疑問を空論・評論・批判にとどまらず政策に落としこみ、政治を身近に感じさせてくれる存在です。特に社会的弱者への温かさが強い印象です。児童相談所など福祉畑を歩まれたお父さんの影響もあるのではないのでしょうか。明るく気さくで老若男女問わず多様な人が周囲に集まり、濃い有言実行の行動力・発言力に惹かれて応援させて頂くことにしました。



**ハッサンさん**  
ホテルのシェフ  
最初に井上温子さんと出会ったのは、外国人を支援しているNPO活動の際です。その後、井上温子さんの紹介で、日本語の勉強をし始めました。今では、平仮名の読み書きが出来るようになりました。井上温子さんは、国籍問わず、どんな人にも温かい人です。充分頑張っているため、「頑張る」とは言いませんが、今のまま進んでいって欲しいと思っています。



**小林 知世さん**  
大学生  
井上温子さんと去年の夏に議員インターンシップを通して知り合いました。井上さんのコミュニティー作りに対する意欲と行動力に魅了され、インターンシップが終わった今でも、フォーラムのお手伝いやミーティングなどに参加しています。地域一体型の街づくりを井上さんならば、実現して下さると思います。

**井上温子 事務所**

〒175-0082  
東京都板橋区高島平 1-71-8  
シャトーカネヨ高島平 101  
Tel: 050-3638-3821  
Fax: 03-3935-0605  
Mail: voice@atsukoinoue.jp  
HP&Blog: http://atsukoinoue.jp/

Twitter, facebook やってます!

**メディア情報**

H25 7月 明治大学大学院ガバナンス研究科にて講演  
NHK 総合にて、地域リビングを紹介  
11月 雑誌「ソトコト12月号」地域リビングを掲載  
12月 雑誌「ソトコト1月号」地域活動を始めてから議員になるまでを掲載

H26 2月 厚労省 社会福祉推進事業 団地における孤立防止検討会にて講演  
3月 共著「地方政治ドキュメントII 議会はあなたを待っている 市川房枝政治参画フォーラムでの学びと実践から」  
5月 島根大学にて「女性×若者×政治」をテーマに講演  
7月 朝日新聞全国版(生活面)まち食として地域リビングを掲載  
TBS テレビあさチャンで地域リビングを紹介  
8月「毎日フォーラム」に政策を寄稿:  
「多世代が集う地域の交流拠点」について  
9月「議員 NAVI」へ寄稿  
9月 J.COMの「いまだこイレブン」にて、コミュニティスペースフォーラムを紹介  
11月 地域の交流拠点や住民参加の政策づくりについてラジオ J-wave 出演: テーマ「ソーシャルデザイン」  
H27 2-3月 東京新聞「女の議会みち」にて紹介

**井上温子 プロフィール**

1984年 生まれ 30歳 出身地: 青梅市  
居住地・事務所: 高島平 本籍地: 板橋区

2003年 東京都立北多摩高等学校卒業  
(在学中、陸上部にて関東駅伝・国体に出場)

2008年 大東文化大学環境創造学部卒業  
(在学中、オーストラリアへ留学 / 高島平の地域活性化の活動に参加 / 中板橋のコミュニティカフェ立ち上げに関わる)

2008年 同大同学部事務室へ就職、  
みらいネット高島平事務局を担当  
(コミュニティカフェ運営等)

2011年 NPO 法人ドリームタウンを設立し代表理事  
区議会議員初当選(無所属)

2013年 同 NPO にて地域リビング プラスワン開設

2014年 いたばしコミュニティスペース連絡会立ち上げ



# 一人ひとりの色、かがやくまち

シェアする暮らし、はじめませんか?

みんなのこえ  
きかせてね!

## 地域リビングから始まる物語 第二章

「3回会ったら、友だちになる。友だちになると、その人が抱えている課題を解決したいと関心を持つ。世代や国籍、障がいの有無をこえ、人と人が出会う場があれば、様々な地域課題が「自分事」となり、まちの空気も変わっていくのでは。」  
「昔と違って、一人暮らしや核家族化が進んでいる。今求められているのは、プライバシーを守りながらも、家事や子育て、介護を地域でシェアする暮らしが出来る場づくりでは。」

他人に無関心、孤独死、少子化や高齢化といった社会課題が叫ばれていますが、私はいつも、このように考えていました。

複雑な課題を解決するには、新しい「暮らし方」を創造することが必要です。まずは、多様な人と人が出会う「コミュニティを生み出す場」が必要と考えました。その「場」は、地域の人たちが「もうひとつの家族」として集う日常の「リビング」のような存在であってほしい。

そんな地域の交流拠点を、誰もが歩いて行ける小学校区52カ所に作りたい…。地域活動をしてきた26歳の私は、こんな夢を掲げて2011年の区議選に立候補し、長年、無所属の当選が根付いてこなかった板橋区で当選することができました。

それから4年が経ちます。「NPOをする議員」としての今までの活動と、これからの板橋を描いた政策をぜひ、ご覧下さい。



板橋区議会議員(無所属) 30歳  
井上 温子 (いのうえあつこ)